

Attention 注目

全国に誇る高崎のものづくりを広く知ってもらい、優秀な技能を顕彰することを目的に、高崎市と高崎商工会議所が連携し「高崎市一流技能者顕彰」が行われている。

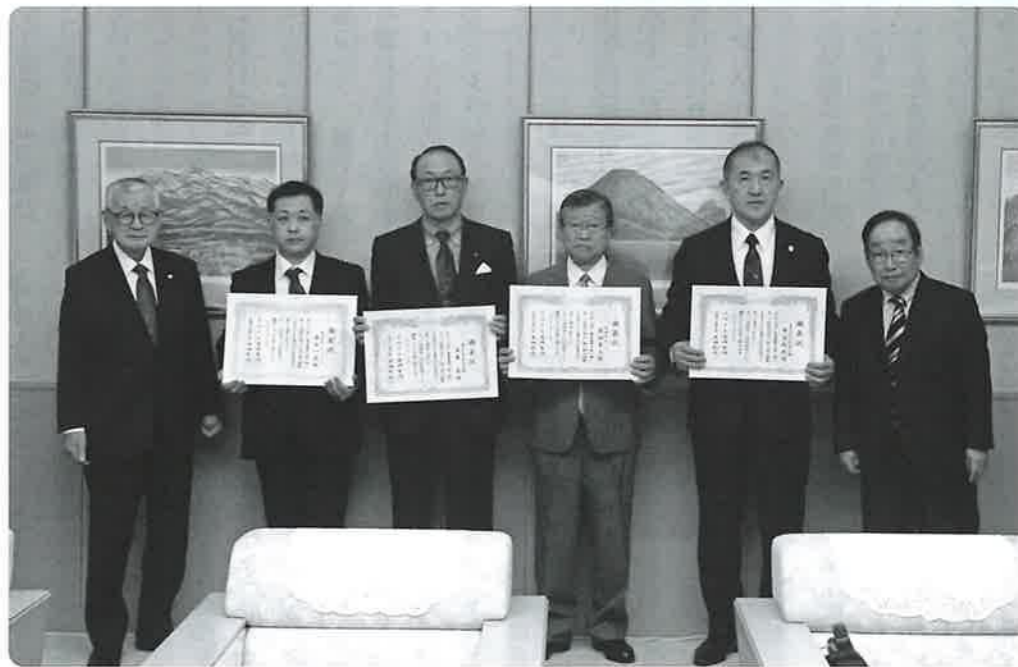
高崎市と高崎商工会議所が連携して取り組んでいる高崎市一流技能者顕彰事業の令和5年度受賞者が決まり、3月25日に高崎市役所で顕彰式が行われた。

この顕彰事業は市内の優れた技能者顕彰するもので、昨年度（令和4年度）から始まった。

幅広い分野の技能を対象に選考が行われ、今年度は栗原一美さん（株式会社シミズプレス）、木暮実さん（株式会社木暮塗装）、高田年三さん（高田木工）、中村純也さん（有限会社中村染工場）の4名が受賞した。

栗原さんはスウェーディング技術によ

高崎市の優れた技能者を顕彰 令和5年度高崎市一流技能者顕彰



令和5年度高崎市一流技能者顕彰式（左から串田会頭、栗原さん、木暮さん、高田さん、中村さん、富岡市長）

市の公式YouTubeチャンネルでも配信している。
高崎市の富岡賢治市長は「高崎のものづくりを広く市民に知ってもらいたい」、高崎商工会議所の串田紀之会頭は「高崎市内には多くの優れた技能者がいらっしゃいます。高崎市内で活躍する技能者に光をあて、たくさんの方に卓越した技能のすばらしさを知ってもらえるように取り組んでいきます」と話している。

令和5年度高崎市一流技能者

【金属加工業】

栗原一美さん

株式会社シミズプレス
スウェーディング部長
（高崎市倉賀野町）



卓越した技術で美しい曲線の金属パイプを成型

高崎市公式
YouTube▶



1974（昭和49）年生まれ。49歳。

受賞者の技術を紹介するビデオを制作し、高崎駅西口のOPAビジョン、高崎駅東口のラ・ビジョン、高崎駅改札口前のJスポットビジョン、高崎市役所1階の大型ビジョンで放映。高崎

【塗装業】

木暮実さん

株式会社木暮塗装会長
（高崎市中尾町）



鮮やかな木目を描く技法

高崎市公式
YouTube▶



スウェーディング加工は金属材料を圧縮成形する技術。冷間（れいかん）で金型によりパイプの端部等を叩いて外径を絞り加工する工法で栗原さんは優れた技術を持つ。シミズプレスは国内でも珍しいスウェーディング加工技術を有する。他社を寄せ付けない実績を重ね、展示会等でも注目され、全国から受注が増加している。

「今回の受賞に恥じないようにより一層努めていきます」と話している。

【組子細工製造業】

高田年三さん

高田木工代表
（高崎市吉井町）



精緻な加工は道具づくりから

高崎市公式
YouTube▶



1950（昭和25）年生まれ。73歳。

戸や障子などの建具の製造を一筋に手がけ、40年以上となる。釘を使わずに木を組み付ける組子細工に力を注ぎ、0.1ミリの精度で生み出される作品は数々の賞に輝いている。従来の修行方法では日本の伝統が消えていくという危機感から、20年にわたり自らの工房で「組子研究会」を開催し、身一つでこの世界に入った経験を、道具や材料もろとも惜しみなく提供している。

「日本でも少ない技術で、これまでに25人を育てました。自分と向き合い自分の世界を見出すことが大事です」と話す。

【注染手ぬぐい製造業】

中村純也さん

有限会社中村染工場社長
（高崎市常盤町）



注染の技法で手染めの手ぬぐい

高崎市公式
YouTube▶



1965（昭和40）年生まれ。59歳。
県内で唯一、明治時代に考案された注染技術でオリジナルの手ぬぐいを制作している。現在は職人の減少や大量生産を目的にプリントが主流となつていくが、注染手ぬぐいの持つ柔らかさや表裏のない仕上がりに、にじみやゆらぎなどの表情の豊かさを再現している。だるまのオリジナル手ぬぐいなどは高崎のお土産としても人気がある。

「日本の手ぬぐいを使っていただけるように発信していきたい。受賞を励みにしていきたい。」

注目

Attention

「まだ知られていない分野なので、こうした受賞を通じて皆さんに認知してもらえるので感謝したいです」と話している。